

(様式9)

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 3月 15日

事業所名 こどもプラス盛岡教室

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2	0	・最低限の活動ができるスペースは確保し活動や状態に合わせて活動している。	・高学年・中学年が多い場合だと狭く感じることもある。分けて支援することも必要。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	0	0	・人員配置に問題はない。	・職員が欠席になった場合に大変なこともあるため人員を増やす予定。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1	0	・特に大きな段差などもなくトイレも車椅子でも利用できるほどの大きさが入りやすい。	・高低差はあるので傾斜部は気を付けることも必要。 ・壊れやすい箇所の補強等もしていく。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	1	0	・職員会議、ケース会議への全職員の参加。 ・その日のうちに振り返りを行い情報共有やヒヤリハット等の有無を話し合い日々支援を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1	0		・職員で確認し合って改善にぜひ繋げていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2	0	・ホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	3	・定期的に事業所本部からの巡回指導を受けている。	・本部巡回後の報告を聞く機会がない。周りからの意見も聞く機会を設けたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	2	0	・毎月事業所本部からの研修に参加。外部研修は参加できるものにはしている。	・外部研修への参加が少ないため積極的に参加していきたい。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	0	・職員間で話し合い情報共有を行い計画書の作成をしている。 ・面談でニーズや課題の聞き取りを行っている。	・利用者の希望の聞き取りを行ってきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	1		・ツールの活用はうまくできていない。 ・保護者に記入してもらったアセスメント資料を元に話を聞き付け足していくこと等を積極的に行っていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	1	・活動内容を職員で話し合っている。	・その日のプログラムは個人で考えることがほとんどなため話し合っ決めていくことも必要。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
適切な支	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に活動内容を話し合い内容が固定にならないように気を付けている。</li> <li>・運動遊びは支援計画にある内容を考えながら設定している。</li> <li>・その日利用の児童の様子にも配慮している。</li> </ul>	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休み土曜祝日の計画を立て進めている。</li> <li>・運動遊び、静かな活動の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曜日や期間に合わせて支援している人もいるが、全員には取り組めていないこともあるため課題の確認と共有を行っていく。</li> </ul>

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標	
援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	・ニーズに合わせて作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2	1	・朝の打ち合わせにてその日の流れ、活動の進め方、役割分担の確認。	・支援内容の確認までは不十分なこともあるため、一人ひとりについて確認していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	0	・夕方の打ち合わせで子ども達の様子の振り返り。	・情報の共有だけでなく次の支援に繋げられるような工夫もしていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1	0	・活動の様子や気になることを個別に記録している。 ・特に行動が大きく出る児童については記録を元に対応を確認している。	・記録を書き出して終わるのでなく一目見て（どこが課題か等）分かるような工夫も取り入れたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	・半年に1回モニタリングを実施している。	・効率よく進められるようにしたい。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	1	0	・一つに固定せず多様に行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0	・決められた人が参加し、その後の情報共有も行っている。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	2	0	・送迎時に学校の先生と情報共有を行っている。	・配布プリントや口頭での情報交換がほとんどで密な連携にはなっていない。必要に応じて支援会議等も進めたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2	2	・該当する児童がいない。	・てんかんの子が数人いる。直接的には保護者からの情報のみとなっているため場合によって主治医との連絡もしていくことが必要。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	3	2		・情報共有を行っていた事業所や園はあるが全てではなく、送迎時のみの情報交換が主になっているため、時間を設けて情報共有していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	1	3	・今までに該当者がいない。	・今年度の卒業生はおりどのように対応するか明確に決まっていないが、必要に応じて情報提供を丁寧に行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	2	・研修があり参加できる時はするようにしている。	・連携にまでは至っていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	0	5		・特に交流する機会を設けていない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	4		
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1	0	・日頃の状況を伝え合い共通理解を持てるよう努めている。		

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	1	4		・助言をする時もあるが、専門的なスキルを身につけていくことが必要。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	・契約時に説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	3	0	・保護者からの相談はいつでも受けつけている。その内容についても職員間で話し合い対応している。	・うまく助言できていないケースもあるため相談に応じていけるようなスキルを身につけてきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	3	0	・今年度は茶話会を1回開催。今後も定期的を開催予定。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	0	・職員間で情報共有し話し合い対応している。	・何か保護者から苦情等があった時にはすぐに職員間で話題にし話し合っていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1	0	・毎月おたよりの発行とHUGシステムにて行事の周知。	・HUGシステムにより連絡はしやすくなったがご家庭に分かりやすい情報発信もしていく。
	35	個人情報に十分注意しているか	7	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1	0	・口頭だけでなく視覚的に分かりやすく伝えるようにしている。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	0	5		・機会があれば地域の行事にも参加していきたい。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	5	0		・保護者への周知はきちんとできていないため今後周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1	0	・年2回避難訓練を実施している。	・火事・地震以外の訓練も実施していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1	0	・年1回以上虐待防止委員会を実施している。 ・虐待防止の研修を受けている。	・全職員が研修を受けていくことも必要。 ・全体への周知が不十分な部分もあったため時間を設けて周知していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	1	0	・支援計画に記載している。	・改めて職員間での確認も必要。 ・子どもへの説明は不十分な部分もある。分かりやすく伝えていきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	1	・アレルギーの有無を確認している。	・医師からの指示書ではなく保護者からの申し出により把握していることがほとんど。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	0	・毎月の職員会議でヒヤリハットの共有を行っている。	・ヒヤリハットの共有はしているが対応についてはできていないケースもあるため防止策まで共有できるようにしていく。